

# 第5回四極青雲会 総会・懇親会および記念講演会

第5回四極青雲会総会が平成27年4月25日(土)午後5時より大分市内のホテルで開催され

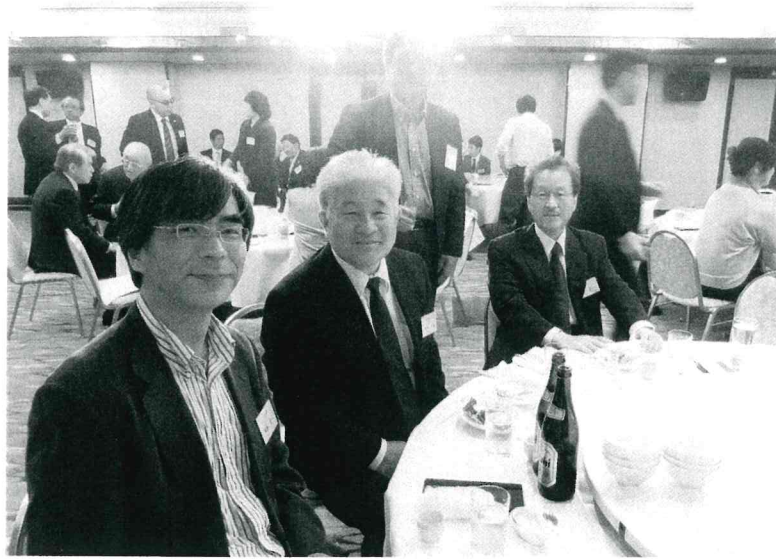


田中 康生氏

た。今回の記念講演は田中康生氏による「四極会今昔」。

四極青雲会は学部が海外や大分大学以外の会員が多く、母校の同窓会である四極会について学ぶ機会があればということでの今回の講演が実現した。

講師の田中康生氏は昭和25年



懇親会の様子

大分経済専門学校を卒業。同年に大分合同新聞社に入社され取締役総務局長や常務取締役など歴任。平成3年から大分合同新聞文化センターの社長。その間四極会大分合同新聞社支部長など兼任。平成8年(株)シーエイシーの代表取締役就任。四極会第7代会長として母校の80周年事業などにご尽力戴き、現在も(株)シーエイシーの取締役相

談役として第一線で活躍中。

## 記念講演

四極会の前身は大分高等商学校同窓会で初代会長は母校の校長。大分高等商業学校の第一回卒業式が1925(大正14)年に同校講堂で挙行された。同日に学校側の支援のもと、大分県公会堂にて大分高等商業学校同窓会の会名で同窓会発足式が執り行われた。第1回卒業生は110名。1942(昭和17)年には設立20周年記念会が開催された。韓国・上海・広東・新京・関東州に海外支部が設立され、とりわけ韓国支部との緊密な交流は途切れることなく発展し他大学の羨望の的となる。1957(昭和32)年の35周年記念総会で、高商・経専・経済学部のそれぞれの同窓会を一本化した現在の四極会が誕生した。理事長は正会員より理事会が選任し会費は必要に応じて各支部を通じて徴収することになった。

やがて会員の増加と活動の拡大にともない、財政面で支部からの支援に頼っていたものを年会費制に改め、広く多くの会員に負担して戴くように改められ、同窓会組織の一層の強化が図られたのは1972(昭和47)年のことで同年に開校50周

年記念式典を挙行されている。歴代会長のご指導のもと各支部組織の強化と世帯別交流の場づくり、職域支部設立などを通じて組織・財政面での挺入れがなされ今日の「四極会」の体制が確立した。以上が講演の主な内容でした。

今日まで同窓会の発展に尽くされた歴代会長の熱意と情熱とあわせて多くの諸先輩方のご尽力に心より感謝の一言である。歴代会長は、野内四郎七氏(高商1回)、中寫(柳)要次郎氏(高商1回)、佐伯鶴太郎氏(高商1回)、河野不二人氏(高商7回)、高山善吉氏(高商10回)、桑原豊氏(高商20回)田中康生氏(経専



第5回 四極青雲会総会 平成27年4月25日(九峰会との合同懇親会)